

# うちわデータ作成の注意点

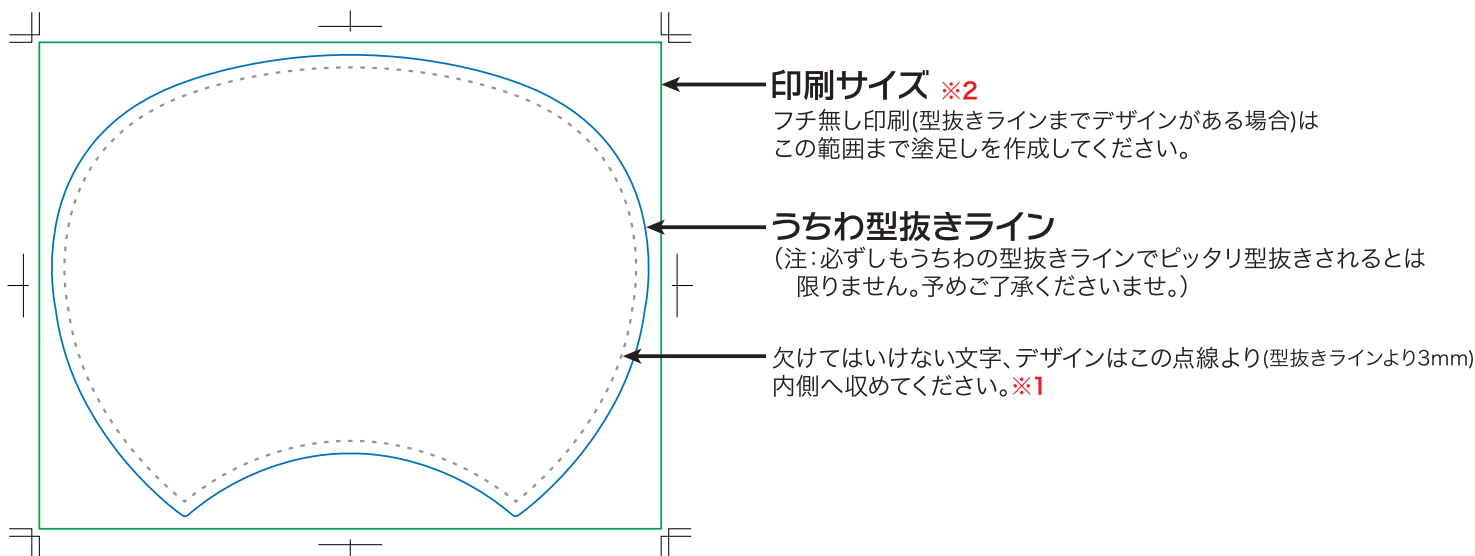
## Ai イラストレータでのデータ作成時 Adobe Illustratorでのデータ作成注意点 対応バージョン Creative Cloud(CC) まで

01. Illustratorで画像をリンクしている場合は、リンク画像も一緒にデザインデータのフォルダに入れて入稿してください。
02. 弊社に無いフォントの場合、意図していないフォントに置き換わったり文字が化けてしまったりするため、テキストは必ずアウトライン化してください。
03. パターンのアウトライン化がされていない場合、印刷データへの変換時に絵柄が崩れる可能性があるため、パターンは必ずアウトライン化してください。
04. テキストを打った時にできる余分なアンカーポイント(孤立点)は削除してください。
05. データの総インキ量を380%以内にしてください。(総インキ量が高いとインキ剥がれの原因となります。)
06. フチ無し印刷(型抜きラインまでデザインがある場合)は印刷サイズまで塗り足しを必ず作成して下さい。 ※2  
(※型抜きラインギリギリですと、型抜き時に白いフチができてしまう場合がありますそのため型抜きラインの外側にまで塗り足しを作成します。)  
(※色が断裁ラインギリギリに配置されている場合、断裁時に白いフチができてしまう可能性があるため、断裁ラインの外側にまで色を塗り足します。)
07. 不要なオーバープリントがかかっているか、確認をしてください。  
(※不要なオーバープリント設定がかかっている場合、意図していない色味に変わってしまったり、オブジェクトが印刷に反映されない恐れがあります。)
08. カラーモードをRGBからCMYKに変換してください。モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
09. 塗りで作られた細い線は、モニター上で見えていても、印刷時にかすれたり消えたりするため必ず線で作成してください。
10. 保存時にバージョンを下げないでください。(作成していたデータと保存したデータに違いが出てしまうので、ミスのもとになります。)
11. データの保存形式はai形式かeps形式にしてください。

## Ps フォトショップでのデータ作成時 Adobe Photoshopでのデータ作成注意点 対応バージョン Creative Cloud(CC) まで

01. 印刷物で十分な品質を確保するためには画像解像度の確認をしてください。  
フルカラーの画像データは、原寸サイズで300～350dpiの解像度が必要となります。  
グレースケールやモノクロ二階調の画像データは、原寸サイズで600～1200dpiの解像度が必要です。
02. レイヤーの表示非表示により、印刷されないレイヤーがある等のトラブルの原因になる可能性があるため、作業中に作成した印刷に使用する全てのレイヤーは、一枚の背景レイヤーに統合してください。またこれを行うと、フォントもラスター化され、フォントのアウトライン作成は必要ありません。
03. フチ無し印刷(型抜きラインまでデザインがある場合)は印刷サイズまで塗り足しを必ず作成して下さい。 ※2  
(※型抜きラインギリギリですと、型抜き時に白いフチができてしまう場合がありますそのため型抜きラインの外側にまで塗り足しを作成します。)
04. データの総インキ量を380%以内にしてください。(総インキ量が高いとインキ剥がれの原因となります。)
05. カラーモードをRGBからCMYKに変換してください。モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
06. データの保存形式はpsd形式かeps形式にしてください。

### テンプレートデータについて(例)レギュラーGタイプ



### 補足説明

